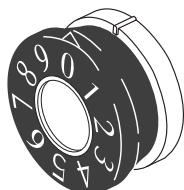


※この説明書は、必ず保管してください。

# 取付・取扱説明書

## 郵便受箱/錠前

### myナンバー錠



お客様の解錠番号 ▼

	号室	
--	----	--

このシールが製品に貼ってある場合は、ご使用前に必ず製品からシールをはがしてください。

このたびは、myナンバー錠<タジマメールボックス 専用錠前>をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただきmyナンバー錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

#### ●安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

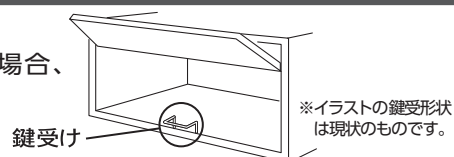


**注意** 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

#### 錠前交換の前に郵便受けの鍵受け形状をご確認ください



**注意** 製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前への交換ができません!!



#### ◇旧タイプの鍵受け形状一覧 (※1982~1992 製造の旧タイプ)

MX-2	MX-3	MX-4	MX-5	MX-7	MX-8	MX-41

(上記以外の郵便受けには、旧タイプの鍵受けはありません。)

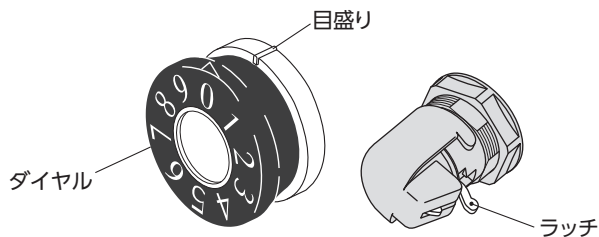
#### ■郵便受箱/錠前 保証書

- 保証期間 納品日から2年間 (納品書は大切に保管してください)
- 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に認められた場合、無償で修理致します。  
本製品は郵便受箱 (タジマメールボックス) の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。
  - 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
  - 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
  - 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
  - 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。(6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
  - 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。●本書は必ず保管してください。

- 製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口について  
お問い合わせの際はご使用の錠前をご確認の上、下記へご連絡ください。

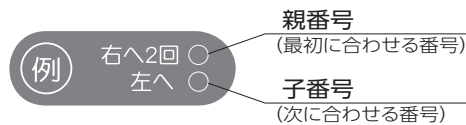
サービス課 TEL03-5977-1765 FAX03-5977-1766

[製品名] myナンバー錠



## ●解錠番号シールの見方

表紙に貼られたシールの親番号と子番号が解錠番号です。



## ■錠前の操作方法

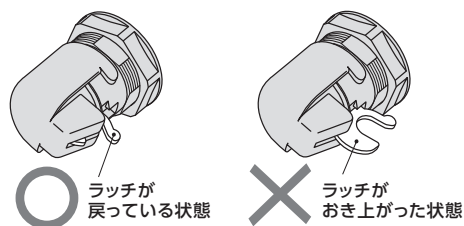
●操作手順	例 右へ2回 2 左へ 8		例 左へ2回 7 右へ 5
親番号を合わせる (1回目)	右へ 目盛り	○あける 親番号(最初に合わせる番号)を指定方向に 回し、2回目盛りに合わせます。 次に子番号(次に合わせる番号)を逆方向へ 戻して合わせると解錠されます。	目盛り 左へ
親番号を合わせる (2回目)			
子番号に合わせる	左へ		目盛り 右へ
そのまま		○しめる そのまま解錠番号の状態ですべてを閉めます。	
1回転以上 まわす		○かける 子番号の方向へ1回転以上回します。 (注) 1回転以上回さないと子番号を合わせただけで開く場合があります。	

※番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります。親番号は2回以上合わせても支障ありません。

## ○操作上のご注意

- 扉が開いている時はダイヤルは回しません。  
▲注意 | 無理にダイヤルを回すと破損しますのでご注意ください。
- 扉を引きながらダイヤルを回さないでください。  
▲注意 | 錠前の故障もしくは解錠出来なくなる原因となります。
- ラッチがおき上がった状態では扉は閉まりません。  
▲注意 | 無理に扉を閉めると錠前が破損することがあります。

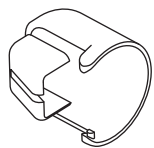
※ラッチがおき上がった状態になっている場合は、指でラッチを押し戻してください。  
動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。



## ○錠前が開かない場合

- 指定の回転方向に親番号を2回、必ず目盛りに合わせてください。(番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります)
- 子番号は親番号を合わせた回転方向とは逆の方向に1回だけ合わせてください。(1回転以上すると再び施錠されます)
- 郵便物をつめ込みすぎると、開かなくなる場合があります。郵便物をため込みすぎないように、定期的にお取り出しください。  
つめ込みすぎて錠前が開かない場合は、投入口から出来るだけ郵便物を取り出し、錠前の施錠部分に隙間を作るようにしてください。

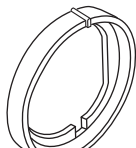
## 部品の名称



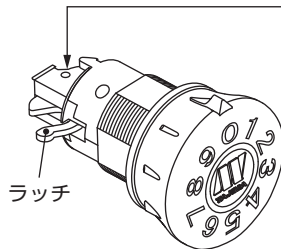
カバー



ナット



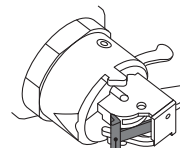
※) 化粧リング



ラッチ

錠前

レバーを操作しないでください



レバー

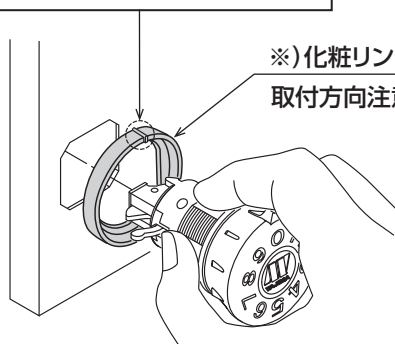
グレーのレバーは、解錠番号を変更時以外は触らないでください。

## ■ 取付方法

1. ラッチが戻った状態で、扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。【図1】
2. 錠前の後ろ側からナットをくぐらせませす。錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。【図2】
3. カバーの突起部分を軸穴に挟み込むようにはめてください。【図3】

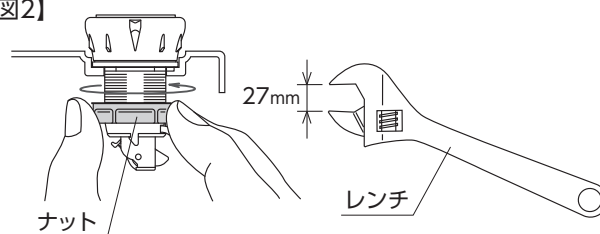
【図1】

番号合わせの突起が12時の位置になるようにセットしてください。



※) 化粧リング  
取付方向注意!

【図2】



ナット

レンチ

【図3】



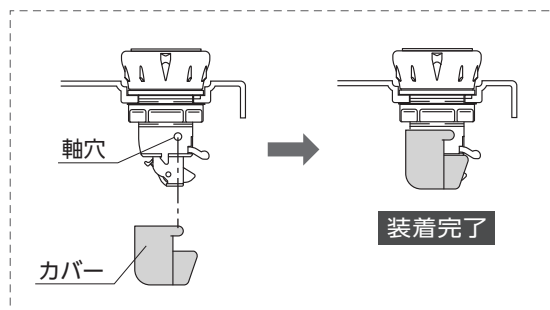
カバー

突起部分

### ※) 化粧リングを取り付ける場合

- 錠前を差し込む前にくぐらせておきます。
- 化粧リングの方向を間違えやすいので図1をよくご覧になって取り付けてください。

お使いの郵便受けに化粧リングがついていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。



軸穴

カバー

装着完了

## 錠前の取り替え注意事項

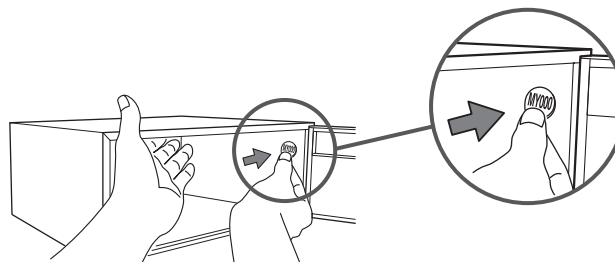
### ● ナンバーシールを必ず貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。



ナンバーシール

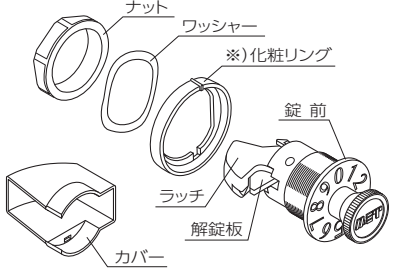
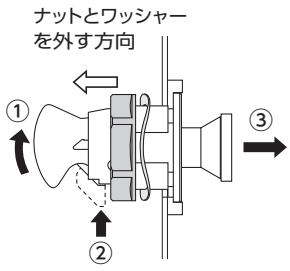
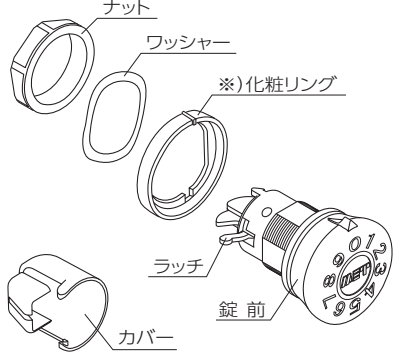
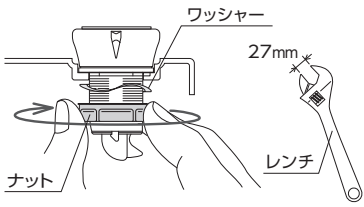

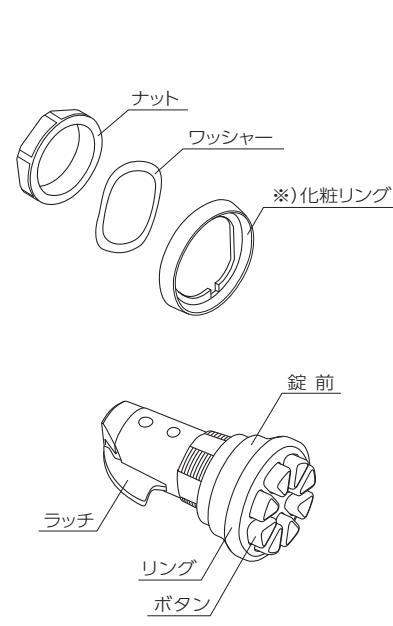
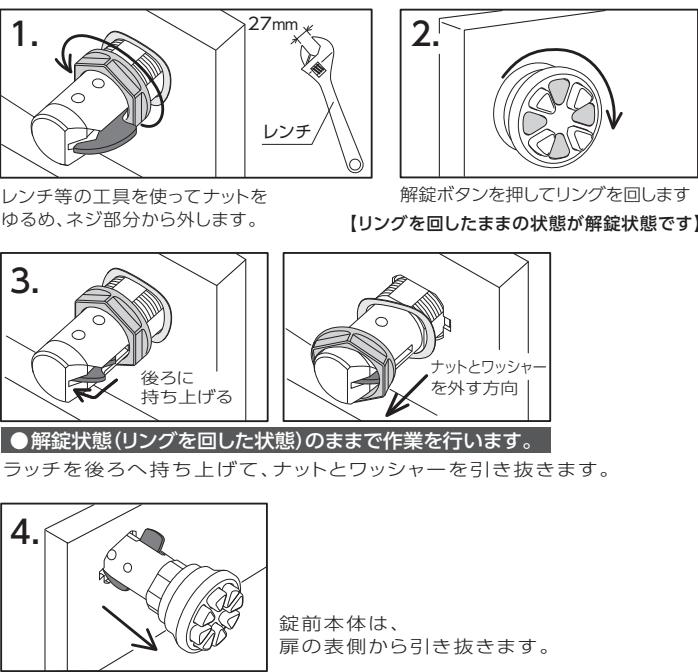
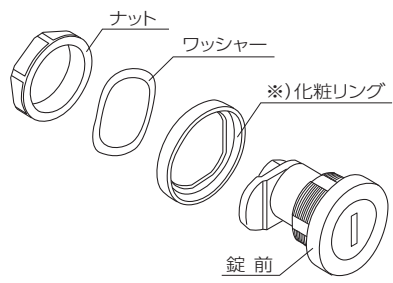

必ず貼ってください



交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

# ■各種錠前の取り外し方法

注) 2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。  
 注) 機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠 前	取り外し方
<p>96ダイヤル錠</p> 	<p>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。  <b>●カバーがついている場合は外します。</b></p> <p>2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。</p> <p>3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。</p> 
<p>フリーダイヤル錠                  セットダイヤル錠                  myナンバー錠                  ラッチロック</p>  <p>●カバー(myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ)</p>	<p>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。  <b>●カバーがついている場合は外します。</b></p> <p>2. ナットとワッシャーを外します。</p> <p>3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。</p>  <p>◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。</p>  <p>ラッチがおき上がっている状態      ラッチが戻っている状態</p>
<p>デジタル錠                  オートデジタル錠</p> 	<p>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。</p> <p>2. 解錠ボタンを押してリングを回します  <b>【リングを回したままの状態が解錠状態です】</b></p> <p>3. ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。</p> <p>4. 錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。  <b>●解錠状態(リングを回した状態)のままで行います。</b></p> 
<p>シリンダー錠</p> 	<p>1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。</p> <p>2. ナットとワッシャーを外します。</p> <p>3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。</p> 

●詳しくは弊社ホームページをご覧ください。ホームページでは動画もご覧いただけます。 <https://www.metalwork.co.jp>

## 田島メタルワーク株式会社

本 社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-1-4 鈴木シャッター本社ビル1F / 営業課 TEL03-5977-1761 / FAX03-5977-1762  
 特販課 TEL03-5977-1767 / FAX03-5977-1762  
 サービス課 TEL03-5977-1765 / FAX03-5977-1766

横浜営業所 TEL045-470-5388 / FAX045-473-0207      名古屋営業所 TEL052-955-3807 / FAX052-955-3887  
 大阪営業所 TEL06-6305-3300 / FAX06-6305-3320      福岡営業所 TEL092-504-4475 / FAX092-504-4482